



2017年 7月

第265号

The Service Club of The YMCA

## 東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長	小口 多津子
副会長	並木 信一
書記	茂木 稔・山本 英次
会計	長谷川 あや子
林外会長	辻 久子
担当主事	中里 敦
プリテン	山本 英次・茂木 稔 大久保 清・多河 敏子
直前会長	中塚 辰生

国際会長 Henry Grindheim (ノルウェー) 主題 「Friendship across the borders 「国境なき友情」 スローガン “Let us walk in the Light together” 「ともに、光の中を歩もう」  
アジア地域会長 Tung Ming Hsian(台湾) 主題 「ワイズ運動を尊重しよう」  
スローガン 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」  
東日本区理事主題 栗本 治郎 (熱海) : 「広げよう ワイズの仲間」  
「楽しくなければ ワイズじゃない 積極参加で 実りある奉仕」  
あずさ部長主題 大野貞次 (東京西) 「継続は力なり、一歩でも前に、そしてあがこう」  
クラブ会長主題 小口多津子 (八王子) 「無理なく、地に根を張って」

### 巻頭言

#### ワイズメンズクラブに入会して

花輪宗命

私は、去る6月10日、6月の第1例会で、念願の八王子ワイズメンズクラブに入会させていただきました。

この3月に定年で現役を引退したばかりで、この先の人生をどう過ごすか考えあぐねていた矢先、久保田ワイズメンからお声をかけて頂きました。

緊張の中で、入会のセレモニーに臨みましたが、誓いの言葉に、自分の今の気持ちにぴったりの珠玉の言葉が連なっており、自分の居場所に収まった気がして、幸甚に存じました。

先輩の諸姉・諸兄のご指導の下、誠心誠意ワイズメンとして奉仕活動に専念する所存ですので、よろしくお願ひいたします。



#### 2017年7月例会プログラム (キックオフ例会)

日時：7月8日(土) 18:00~20:00

場所：北野事務所 2階 大会議室

受付：福田、大久保メネット

司会：多河

開会点鐘	会長
ワイズソング	一同
ワイズの信条	一同
ゲスト・ビジターの紹介	会長
新旧会長・メネット会長引継ぎ式	会長
会長 新年度挨拶	会長
聖書朗読・食前感謝	辻
会食：	一同
(会食をしながら報告、連絡事項)	各委員

卓話 「認知症の予防と生活習慣」

卓話者：精神科医 功刀 弘氏 (甲府21ワイズ)

スマイル	大久保
ハッピーバースディ	会長
閉会点鐘	会長

先月の例会ポイント (6月)		BFポイント	
在籍	17名	切手 (国内・海外)	0g
メン	12名	累計	185g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	71%	累計	0円
メネット	3名	スマイル	5,560円
ゲスト	3名	累計	88,676円
ビジター	3名		
ひつじぐも	4名	オークション	0円
		累計	0円

## 「温故知人」第20回東日本区大会（川越）

小口多津子

今年で20回目を迎えた区大会が利根川理事の地元、川越で開かれました。

参加総数425名。メンバー数11名という川越クラブがホスト役を、埼玉、所沢クラブの協力で前日の役員会を入れて、丸三日間の盛大な大会でした。

八王子の参加者は、中塚会長、中里さん、久保田さん、長谷川さん、小口と今年7月のタイのAYC参加者中央大学ひつじぐも渡辺敦さん、現委員長の須郷さん、OBの藤永さん。年々若者が大会に顔を出して下さっています。

この大会で20周年記念プログラムがあって、日本区が東西に分かれてからもう20年の時が過ぎたことになり余りの時の速さに驚かされます。

壇上に第11代、越智京子理事からの歴代10人の区理事が登壇して歴史の重みを感じました。一人一人にそれぞれに出来事や思い出があり、あれからもう10年、と思いました。区大会というのは、この1年の総まとめではあっても、長い間のお付き合いのあったワイズメンに再会し、その時の自分を重ねて思い出や記憶をたどるのが大会の良さであると改めて感じました。

中塚会長、長谷川さん、久保田さんは年次代議委員会に、中里さんは担当主事会に、私、渡辺君、須郷君、藤永君とユースの会に出席しました。今やユースは以前と違って聞く側ではなく、私たちワイズに聞かせる立場です。

午前の部のメモリアルアワーの静かな時間の中、今年のあずさ部はとて貴重な三名の方、鈴木孝子メネット（甲府）と木原洗ワイズ、堀内浩二ワイズ（共に東京西クラブ）が亡くなられて、そのスクリーンに映し出されたお顔を見て涙が出る思いでした。

今年の記念講演は、ローカル線を救う～危機を乗り越え、地域を元気にする～という題で千葉県、いすみ鉄道（株）社長の鳥塚亮氏の講演でした。ご自身の多岐にわたるご経歴から、いまの職場である千葉の赤字鉄道のいすみ鉄道を、今や各地のマスコミに取り上げられるほどの人気鉄道に変化させたその手腕、その中身。その体験談が面白くて、笑い転げメモさえ取れないほどでした。

この手腕、絶対にワイズに応用できますが、一番、芯になっているのはこの方のお人柄でしょう。

翌4日は区アワーがあり、事業主任の報告と表彰式でした。会員増強事業賞では、八王子クラブはインビテーション最優秀クラブ賞2位を頂きました。中央大学学Yの応援が中塚会長の働きそのまま功を奏したと思いました。

続いて理事の新旧交代式があり、利根川恵子理事から栗本治郎氏（熱海クラブ）が宣誓をして新理事になられ、次年度の方針を述べられました。一にも二にも、会員増強が目標です。八王子クラブの目標でもあり力強さを感じました。

川越は近いですが、宿泊をしてゆったりと区大会を楽しみました。



## 6月の卓話「『発達障がい』ってなんだろう？」

山本英次

6月の卓話は、世間でも広く使われるようになってきた『発達障がい者・児』を対象に行っているYMCA活動について紹介するお話です。

卓話者の樋上巧洋さんは、2016年5月に、東京YMCA西東京センターに入職しました。早稲田大学大学院にて、臨床心理学を専攻し、現在、発達障がいやその周辺に課題を持った子どもたちを対象とした「ソーシャルスキル・トレーニング」を行うASCAクラスの講師をされております。昨年6月より開設した放課後等デイサービス『さくら国立』の指導員を行っております。

愛知県の出身で、「きしめん」とよばれている。中里西東京センター所長中里敦さんの後輩であります。

現在の活動の中心は、西東京センターの発達障がい児の為の活動を行っております。発達障がいとそのこれからの注目されてきております。「発達障がい」の言葉の発生は、1960年ころのアメリカから生まれてきました。ケネディ大統領の時代となります。日本では、1980年ころから、発達障がいという言葉が使われるようになりました。発達障がいの中でも、今回は次の4つについて話がありました。

- ① 知的能力障がいは、IQの低い-高いで判断します。1890年代後半に、学校に通いながら、どうも勉強に遅れがある子どもが増えてきて、知能検査の結果を参考にし、知的障がいという名前が出てきました。
- ② 自閉スペクトラム症（ASD）は、かつて、自閉症やアスペルガー症候群（知的能力低下を伴わない自閉症）と言われていた障がいです。「コミュニケーション能力」「相手を気遣う能力」「集団で場の空気を読んで適切に行動できる能力」などといった数値化できない能力に障がいを来すため概念が難しい。
- ③ 注意欠陥多動性障がい（ADHD）は、注意に関する問題（不注意）と衝動的に行動してしまうことの問題があるといわれています。
- ④ 学習障がい（LD）は、IQに問題がないにもかかわらず、「読み」「書き」「計算」

のあるところにだけ問題がある障がいです。未だに原因は明らかとされていません。

発達障がいの有名人は、ミッツマングローブ（学習障がい）、栗原類（注意欠陥障がい）、長嶋茂雄（注意欠陥障がいADD）、黒柳徹子（計算障がい、読書障がい）、トムクルーズ（失読症、難読症）

ステイブ・ジョブス（ADHD）、スーザン・ボイル（ADHD）、ビル・ゲイツ（自閉症、ADHD）、ウォルト・ディズニー（失読症）、J・F・ケネディ（ADHD）、坂本龍馬（ADHD）、織田信長（アスペルガー症候群・ADHD）、ダヴィンチ、アインシュタイン、エジソン、モーツァルト等の有名人がいる。

東京YMCA活動での関りの中で困っていることは、「適切にすること」、「出来ない」「やりすぎる」「話し過ぎる」「空気が読めない」ことそのものよりも、そのことによって人に「ダメだ」と言われたり、失敗したという体験を多く重ねることで、自己評価の低下やネガティブな他者評価につながってしまう事です。

YMCA活動の例として、「朝起きのできないB君の場合」で説明された。Bくんは、落ち着きがない、邪魔であるといわれる。目の前の事で気になる。ほかの事が目に入らない。きめの細かい指導ができない。そんなBくんが、YMCAの活動の中で、一緒に楽しかったことを言われる。終わってから、自分の良い処を見ていてくれる。自分の意見を聞いてくれる。などの経験を経て、それが自信につながる。体験の中で学んでゆくことが良いことで、そのような気持ちへ導くことが大切な指導といえます。

自分の良い処を見ていてくれる事を知るのは、発達障がい児以外でも大切なことであります。

6.5%は、何を意味するのでしょうか？これは、発達障がい児の割合（20名中1名の割合で、1クラス40名だとしたら、内2名の発達障がい児の存在がある計算になる）。発達障がい児も知的障がい児も一般児童でも一緒に学んでいこうとする動きがあるが、無関心層やネガティブなイメージを持つ人も少なくない。

また、病名というラベルが貼られて患者が増加しているといわれている。しかし、特徴のある人は昔から居たわけでありです。そのため、発達障がいと一括りに言うのではなく、レベルを考えることが大事である。

また、私たちが何をすることができるのかを積極的に考えることは大事であるが、知らないことに共感するのは難しい。良かれと思うことが、本当に相手にとって良い事であるのかを考えることが大切。では、その人にとって必要なことは何か？その答えは人それぞれで決まった答えはない。それでも、あえて言うのであれば、「安心する場・体験する場、学ぶことが出来る場」そして、その中で一緒に時間を過ごす「人」の存在だと思う。



早話者の樋上均洋さん

## 絹の道ボランティア感謝・交流会の報告

メネット会長 並木 雍子

八王子クラブメネット会では、永年にわたり、「絹の道デイサービスセンター」を定期的に訪問して、デイサービスのご利用者に手芸プログラムを提供するボランティア活動を続けています。このボランティア活動には、ワイズメネット以外にも、メネットの個人的な友人等にもボランティアとして参加協力いただいています。このため、メネット会では、協力ボランティアに感謝し、ワイズメネットと協力ボランティアの交流会を年に一回開催してきました。

今年度は、去る6月9日（金）、11時30分～13時30分、北野駅近くの「カフェ コトン」を会場に、食事を共にしながら交わりを深めました。ボランティアの方々からは、「デイサービスの利用者と共に手芸をするのはとても楽しい」との感想が聞かれ、嬉しく思いました。会の中では、「デイサービスの利用者がこのような作品を家庭に持ち帰られたら、きっと、ご家族も喜ばれるだろうな」と思わせられる壁掛けや、フワフワした感触で丁寧な作られたマスコットなど、これまでの手芸作品なども並べられ、話しがはずみませんでした。

また、みんなで、♪一人の小さな手 なにも出来ないけど それでもみんなの手と手を合わせれば、なにか出来るなにかできる・・・♪、と、「一人の手」を歌って心を合わせ、気分転換のクイズゲームの頭の体操で、柔らかく頭を取り戻す等、楽しい時を過ごしました。

このボランティア活動は、茂木洋子メネットを中心とした、原案の作成、材料の準備、経費の扱い、諸連絡等、陰のお働きがあり、さらに、こころよく受け入れて下さる、絹の道のスタッフやご利用者のあたたかい心があつてこそ、続けられてきたものであり、感謝の思いを新たにします。今後も永く、この活動が続けられ、ワイズメネットの枠を超えたボランティアの輪が広がっていくことを心から願うものです。

参加者は、ワイズメネット6名、協力ボランティア7名の合計13名でしたが、会の終了後は「絹の道」に急ぎ、この日も定例のボランティア活動でご利用者の皆さんとも交流の時を楽しんだことでした。

## AYC 参加が決定しました

中央大学ひつじぐも3年 渡邊 敦

こんにちは! 中央大学ひつじぐも3年の渡邊敦と申します。この度東京八王子ワイズメンズクラブの皆さんに推薦していただき AYC への参加が決定しました。ありがとうございます。

私は昨年まで資格試験に向けて勉強していたのですがそちらの方が一区切りつき時間ができたため、こちらで一つ大きいことをやりたいと思っていたところ AYC の話があり参加してみようと思いました。

家族旅行で韓国に行った以外に日本を出たことがありませんし高校の時から今にかけて苦手な科目は英語でありまして、そんな私が他国の青年達と意思疎通ができるのかなり心配ですが、自分の英語がどれだけ通用するのか少し楽しみでもあります。

少し前、西東京センターの「しゃしゃ」というリーダーに「これめっちゃ笑えるで」と日本テレビ系列で放送されている『世界の果てまでイッテQ!』の企画の一つ「出川哲郎はじめてのおつかい第二弾 in ロンドン」を見せられました。内容はタレントの出川さんがロンドンで現地の人のお話を頼りにいくつかミッションをこなしていくというもの。彼が発する英語が文法も単語もめちゃくちゃでいくつもの独特な表現が飛び出し視聴者の笑いを誘います。当然現地の人にも彼に困惑し中には苛立ちや不快感を示す人もいましたがそれでも徐々に答えに近づいていき見事ミッションを達成します。補助役の帰国子女の人よりも現地の人達から情報を聞き出しているシーンもあり驚きました。彼は極端な例ですが、多少間違っていようが恥ずかしがらず「伝えたい!」「聞き出したい!」という熱を持って大胆に外国人に話しかけていく姿勢は見習いたいものです。

AYC に向けて努力すべきことは多いですが一番大事なことは楽しむことだと思います。恥ずかしがって何もできないのでは楽しみようがありません。自慢ではありませんが、自分こそぞという時に恥を捨てるのは得意です。心を裸にし大胆にそして際限なく楽しんで来ようと思います。

## ひつじぐも新入部員正式入会式

中大ひつじぐも会長 須郷利貴

このたび、ひつじぐもの正式入会式が執り行われました。今年は、八王子ワイズメンズクラブから4名が、そしてOB会である白羊会からは3名が、さらに顧問の酒井先生がご出席されるなど、多くの方に囲まれた正式入会例会となりました。はるばる遠方よりご足労いただき、誠にありがとうございました。

入会式では、私は今年度の目標を語らせていただきました。

その目標とは「様々な活動に触れ、新たな自分を発見し、高みを目指す」というものです。

私の経験から、さまざまな活動に参加し、自分の世界や価値観が大きく変わったことを強調いたしました。特に、昨年 IYC に参加できたことは私にとって大きな転換期となりましたので、そこを重点的に伝えるようにしました。今後、大きな成長の場となる IYC・AYC に参加する部員が出ることを願っております。

ほか、ゲスト参加の方から挨拶をいただく場面もありました。白羊会の村野様と顧問の酒井先生からは、中央大学 YMCA の歴史や、ひつじぐも誕生の歴史が紹介されました。東京八王子ワイズメンズクラブの中塚様からは、中央大学 YMCA と東京八王子ワイズメンズクラブとのかかわりについてのお話をお伺いいたしました。これらは普段知ることのないお話でしたので、新入部員にとっても私たちにとっても有意義な時間となりました。

今年度は20名を超える新入生が新たにひつじぐもの一員となりました。人数では昨年を上回ることはいませんが、一人一人の意識の高さを実感しております。その分、昨年今年の白門祭での活躍が期待できますので、楽しみにしていただければと思います。

私の委員長としての任期もあと5カ月となりました。部員の協力もあり、例年以上に活発に活動が行われております。そのためにも、これからもひつじぐものために尽力していきたいと思っております。

今後とも、私たちひつじぐもと東京八王子ワイズメンズクラブの皆様の良い関係が続くことを願っております。



## 高尾の森わくわくビレッジ報告(7月号)

館長 古市 健

連日しとしとと雨が降り続き、敷地内の原っぱで元気いっぱい遊ぶことを楽しみにしていたお子様が、残念そうに空を見上げている姿を多く見かける月となりました。しかしながら、たまに訪れる梅雨の晴れ間の日には、待ちわびていたかのように、ご家族連れを中心にお客様が多く訪れ、原っぱで遊んだり館内で活動支援プログラムを体験なさったり、様々に思い出を作っていたいただいている様子が見受けられます。

おかげさまを持ちまして、6月は大変多くのお客様にご利用をいただいております、6月全体では3,429名(6/27予約時点・テント宿泊含む)と、今年度に入り一番多くのご宿泊数、また6月単月ベースで見ましても、開業以来過去最高水準のご宿泊者数を記録する状況となりました。今月は学校の中でも、お体の不自由な生徒さんが集う、特別支援学校のご利用が多く、お迎えするにあたっては、宿泊や食事の準備に細心の注意を払って対応をしております。今のところ特に大きなトラブルも無く、退館の際には笑顔でお帰りになる姿も見受けられ、スタッフ一同とても嬉しく感じております。

一方、今月は敷地内の駐車場において数件のトラブルがありました。自動販売機の飲料を納入する業者の車が、駐車場設備を破損させる事故や、駐車場内のマンホール付近のコンクリートに経年劣化による破損が生じたりいたしました。いずれも、当館のスタッフが直接及ぼしたトラブルではありませんでしたが、これらを一つのきっかけとし、引き続き、お客様に安心安全にご利用いただけるよう、スタッフも気を引き締めてまいります。

間もなく7月を迎えます。当館の最も繁忙なシーズンが近づいてまいります。日々の多くのお客様をお迎えする裏ではまた、私どもで主催する様々なキャンプの準備も佳境を迎えてまいります。これにおいても利用者の安全を最優先して計画するよう、私も担当者と話しております。日々のお客様へのサービスと、キャンプの計画と、そのどちらもおろそかにしないよう、スタッフ一同、力を合わせて取り組んでまいります。

## 中大・学Y便り

再入部生 原部 佑基

この度、この文章を執筆している自分、原部佑基はすでに一部の方々が知る通り、2013年3月に中央大学商学部を卒業している人間である。しかも、それまでの4年間は当『ひつじぐも』に在籍していた過去も持ち合わせている、かなり稀有な経歴を持つ人物といえる。今回は年齢にして26歳の筆者が何故、大学だけでなくこの『ひつじぐも』に舞い戻ったのか、その理由を簡潔に記していきたい。

その理由とは単純な話で、『ひつじぐもの活動を通して、自己の認識を変えることに至り、自らの行動を変えるという経験を他者に広める為』である。自分は物事を考える際に『認識』というものを重視するようにしているが、現在の自分自身の人格ないし人間性としての要素には、この『認識』が大きく影響している。

自分が大の旅行好きという事は知る人ぞ知る事であるが、そのきっかけは『ひつじぐも』の活動の一つであるタイへのスタディーツアーに参加した事だった。一つ上の先輩達と一緒に参加ではあったが、当時大学一年生の自分の興味をより外へ向けるには十分だった。その後、東南アジア、欧州、北アフリカ、中央アジア、中米と足を運び様々な刺激に触れ経験を積み、自分自身の『認識』をより深めてより広げる事が出来た。

自身の『認識』が変われば『世界観』も変わり、『行動』も変化する。それらが積み重なって今の自分を形成できた。そして、今の自分は中央大学文学部西洋史専攻の学生として存在している。そして『認識』を変えることに至った今の自分はそれなりに『幸福』で生活している。

このような形の経験を『ひつじぐも』のメンバーに広げようという思惑だが、幸運にも、この『ひつじぐも』の活動は以前と比べたら大幅に増えている。それは、これまでの部員達の努力の賜物とも言える。願わくは、自分もその一翼を担いたい。そして、それらの活動が一人一人の『幸福』のきっかけ、もしくはその物になる事を陰ながら祈っている。

## 西コミュニティセンターの主な行事予定

7月

### ◆11日(火)「ボイストレーニング」

@西東京センター 14時00分～15時00分

毎月(8月を除く)第2火曜日に行っています。

呼吸・発声・響き・発音の練習をし、ハリのある声やスムーズな滑舌を身につけていきます。

定員：各回30名 参加費：700円/1回

【ボランティアリーダー募集!】

- ・お知り合いの方に大学生等いらっしゃいましたらぜひご紹介お願いいたします。

## 卓話者紹介

功刀 弘(くぬぎ ひろし)さん

精神科医・くぬぎクリニック名誉院長

甲府21ワイズメンズクラブ

1937年、甲府市生まれ。慶応高校、慶応義塾大学医学部卒業。1971年県立北病院福医院長、1979～1991年日本精神神経学会評議員と理事、1997～2005年厚生労働省公衆衛生審議会専門委員、山梨県精神医療審査会委員、1997～2005年山梨県精神科医会会長、2008～2012年山梨県精神科診療所協会会長、2011年～功刀クリニック名誉院長、2016年～NPO法人山梨のちの電話理事長。

## 西東京センター便り

センター長 中里 敦

「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです」(コリントの使徒への手紙2:18) これは、西東京センターの年間聖句でもあります。

昨年もこの聖句を紹介させていただきましたが、7月はキャンプに向けて大きな働きをする季節です。この夏もキャンプや活動など10以上のプログラムが予定されています。障害のある方たちも含め幼児から成人まで幅広く多くの方が参加します。多くの人が、感動、喜びといった心に残る体験ができることを願いながら、リーダー会やトレーニングを重ねています。写真や動画など視覚にうったえる方法が多く取られていますが、それを見て感動し、心を揺り動かすのはその裏にある体験だと思います。目の前でおこっていることは過ぎ去りますが、そこでの感動や喜びといった体験はいつまでも残り続け、その後の人生と共に歩いていきます。良いことばかりではないかもしれませんが、YMCAのキャンプでは、感動や喜びがあり、その中で主体性が生まれ、その後の生き方が豊かになることを願っています。良いキャンプが行えるようお祈りいただけたら幸いです。

東京YMCAのホームページが新しくなったのはご存知でしょうか。その中に「西東京コミュニティーセンター」のページがあります。西東京で行っている活動の紹介だけでなく、新着情報として、定例活動やイベントなどの報告をしています。簡単ではありますが、西東京の様子を知っていただけるページですので、ぜひご覧ください。また、YMCA公式の『フェイスブック』や『ツイッター』も始まりました。YMCAの活動をより広め、理解していただけるものとなればと願っております。そちらもぜひご覧いただき、「フォロー」「ツイート」をお願いいたします。



### 【報告】

6月第1例会の議事録次の通りです。

日時：2017年6月10日(土) 18:00~20:00

会場：北野事務所

出席者：クラブメンバー：(A班) 山本、小口、長谷川、中里、中塚、(B班) 辻、茂木、並木メン・メネ、久保田メン・メネ (C班) 福田、多河、大久保メン・メネ 合計15名  
中大ひつじぐも：(3年) 須郷利樹、渡邊敦、(2年) 大隈亜美、宮内蒼也

ビジター：浅羽あずさ部長、綿引(東京多摩みなみ) 谷治

(東京まちだ)

ゲスト：卓話者・樋上江洋さん(東京多摩みなみ)

入会者：花輪宗命さん、古市健さん(計25名)

入会式：花輪宗命さんと古市健さんの入会式が浅羽あずさ部長立ち合いのもと厳粛に実施された。

卓話：「発達障がいって何だろう？」卓話者：樋上巧洋さん

### 報告事項：

6月3日(土)~4日(日) 第20回東日本区大会が川越市「ウエスタ川越」で開催 “温故知人”

出席者：中塚、長谷川、小口、久保田、中里担当主事

ユース：ひつじぐも須郷利貴、渡邊敦、OBの藤永嵩秋が出席。

6月8日(木) 中央大学学Yひつじぐも新入部員正式入会式 中塚、小口、多河、久保田が出席

6月9日(金) 絹の道ボランティアの皆様との感謝会

出席者：(メネット) 並木、辻、茂木、大久保、久保田、多河メン及びボランティア7名合計13名。

(今後の予定)

・東京YMCA第20回会員芸術祭 6月26日~7月1日 @東京YMCA東陽町センター

ボランティアとして、小口、並木が参加協力。

・6月第2例会(担当：A班) 24日(土) 18:00~20:00 会場：北野事務所2階小会議室

・2017~2018年度第1回あずさ部評議会：7月15日(土) 主催：松本クラブ

出席者：小口会長、茂木書記、長谷川会計、久保田、中塚  
・アジア・パシフィック地域大会(タイ・チェンマイ)

7月21日~23日 出席者：久保田、AYC：渡邊敦(ひつじぐも)

### 報告事項—2

\*中大ひつじぐも新入生歓迎会の草刈 BBQ の会計報告。

・今年度のクラブ会計決算報告書報告

\*8月の直前会長・メネット会長感謝会について。

日時は、8月12日(土) PM5:30より、北野駅前ファインにて予約済み。

### \* 絹の道デイサービスセンター \*

【報告】

6月9日(金) 手工芸 14:00~15:00

参加者：赤羽・石井・色川・久保田・下重・調・多河・並木・山口・山中・茂木

【予定】7・8月はお休みします。9月は27日(水)です。

## 7月誕生日の会員

花輪 宗命さん 7月 8日

中塚 辰生さん 7月20日